

授業科目		対象学科・専攻	年 次	期 別
レクリエーション概論 Introduction to Recreation		全学科	1 年次	前期（集中）
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒 業 認 定	担 当 教 員	
講義	2		信田 百合夫	
概要				
多様かつ複雑に変化する社会において、生涯学習の重要性が一層叫ばれるとき、レクリエーションへの社会的・時代的認識が高まる中で、理論に精通した有能な指導者の養成を図る。また、日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格を取得する。				
到達目標				
(1) レクリエーションの意義や歴史について支援できる。 (2) 現代社会とレクリエーション等における課題や、レクリエーション・インストラクターの役割について支援できる。 (3) レクリエーション事業展開・アセスメントに基づいたプログラムの作成ができるように支援できる。				
授業内容とすすめ方				
1 レクリエーションとは何か 2 レクリエーション運動の歴史とその背景 3 レクリエーション運動を支える使命と制度 4 レクリエーション組織 5 レクリエーション支援とレクリエーション・インストラクターの役割 6 ライフスタイルとレクリエーション 7 高齢社会の課題とレクリエーション 8 高齢者への働きかけ 9 少子化の課題とレクリエーション 1 0 少子化への働きかけ 1 1 レクリエーション事業の考え方 1 2 レクリエーション事業の展開とプログラム 1 3 個人のアセスメントに基づいたプログラム 1 4 市民を対象とした事業のつくりかた 1 5 レクリエーション活動の安全管理				
成 績 評 価 方 法	定期試験（知識・理解・思考）80%、意欲・態度 20%			
テキストおよび 参 考 文 献	（財）日本レクリエーション協会 編「レクリエーション支援の基礎」			
メ ッ セ ー ジ な ど	人間としての遊び、レクリエーションの意義や重要性を理解し、「レクリエーション・インストラクター」の資格を取得しましょう。 レクリエーション・インストラクター：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年 次	期 別
レクリエーション実技 Practical Skill on Recreation		全学科	1 年次	前期（集中）
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒 業 認 定	担 当 教 員	
実技	1		信田 百合夫	
概要				
多様かつ複雑に変化する社会において、生涯学習が一層叫ばれるとき、レクリエーションへの社会的・時代的認識が高まり一般化する中で、レクリエーション実技に精通した人材の養成が必要である。そのためのコミュニケーション・スキルを身につけると共に、日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格を取得する。				
到達目標				
(1) コミュニケーション・ワークで必要なホスピタリティについて支援できる。 (2) ホスピタリティトレーニングやアイスブレーキングについて支援できる。 (3) ゲーム・ソング・ダンスの基礎的なものが支援できる。				
授業内容とすすめ方				
1 コミュニケーション・ワーク 2 レクリエーションにおけるホスピタリティ 3 コミュニケーションをとるために必要な態度・行動 4 ホスピタリティの示し方 5 ホスピタリティトレーニング 6 集団の中でのホスピタリティ 7 アイスブレーキングの意義 8 アイスブレーキングの基礎技術 9 アイスブレーキングのプログラミング 10 ゲーム① ー数集まり・後出しジャンケン 他ー 11 ソング① ーハローハロー・あの青い空のように 他ー 12 ダンス① ーチビッコカウボーイ・炭坑節・ハブナルヤイン 他ー 13 ゲーム② ー木の中のリス 他ー 14 ソング② ー世界はひとつ・四季の歌 他ー 15 ダンス② ー愛のハーモニー・東京音頭ー				
成 績 評 価 方 法	実技試験（技能・表現・意欲）80%、意欲 20%			
テキストおよび 参 考 文 献	（財）日本レクリエーション協会 編「レクリエーション支援の基礎」			
メ ッ セ ー ジ な ど	ホスピタリティを理解し、色々なアイスブレーキングの支援ができ、「レクリエーション・インストラクター」の資格を取得しましょう。 レクリエーション・インストラクター：必修科目			

授業科目		対象学科・専攻	年 次	期 別
レクリエーション指導者実習 Training for Recreation Leaders		全学科	1 年次	前期（集中）
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒 業 認 定	担 当 教 員	
実習	1		信田 百合夫	
概要				
有能な日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要なレクリエーション実習は、学外での「教育実習」2／3単位と「事業参加」1／3単位で履習する。但し、事業参加は必修とする。（事業参加3回で1／3単位）				
到達目標				
(1) レクリエーション・インストラクターとして必要な内容について支援できる。 (2) 色々なレクリエーション事業に参加でき、スタッフとして支援できる。				
授業内容とすすめ方				
教育実習 ・ 教育実習の研究（小学校・幼稚園全科） ・ 教育実習（実習校・実習園での実習） 事業参加 ・ 全国一斉「あそびの日」キャンペーン（県内外の市区町村・レクリエーション協会等の事業） 全国的に開催される「あそびの日」のキャンペーンとして、特定の期間に一斉に全国各地の市町村やレクリエーション協会等で実施される事業で、ニュースポーツやウォークラリー等、様々な催しが開催される。 これらの事業に自由な形で参加可能な所へ参加する。 ・ 県内レクリエーション事業（県内市・町・レクリエーション協会レクリエーション事業） 県内の市町やレクリエーション協会等で実施されるレクリエーション事業で、ボランティアやスタッフとして自由に参加する。 ・ 山口県スポーツ・レクリエーションフェスティバル（山口県レクリエーション協会主催事業） 山口県レクリエーション協会の主催で体育の日を中心として、各種のレクリエーション団体が開催するスポーツやレクリエーションに、ボランティアやスタッフとして自由な立場で参加する。				
成 績 評 価 方 法	支援技能 80%、意欲・態度 20%			
テキストおよび 参 考 文 献				
メ ッ セ ー ジ な ど	レクリエーションを多くの人に支援し、自らもすばらしい「レクリエーション・インストラクター」として活躍できるよう資格を取得しましょう レクリエーション・インストラクター：必修科目			